

ネコのばあい



ネコの繁殖期は初春から晩秋。この間にメスネコは、発情・妊娠・出産を2～3回繰り返します。交尾の刺激で排卵するので、交尾すればほぼ100%妊娠し、一回の出産で4～8匹の子ネコを産みます。

生まれた子ネコは生後8ヶ月くらいで、子ネコを産めるようになります。毎年、妊娠・出産していたら、1匹のメスネコがあっという間に、何10匹にも増えてしまいます。



発情すると大きな声で鳴き、オスネコを求めて外に出たがります。閉じ込めて交尾させないのは、大きなストレスになってしまいます。

また、妊娠・出産の繰り返しは、母ネコの体に大きな負担を与え、病気や寿命を縮める原因になります。

不妊手術をすることで、望まない子ネコが生まれただけでなく、一生、繁殖に関するストレスから解放され、おだやかに過ごすことができます。妊娠・出産の負担がなくなり、生殖器の病気や交尾でうつるネコ白血病などの病気の心配もなくなります。



オスネコは生後8ヶ月くらいでオトナになり、独特の声で鳴き、クサイにおいのオシッコをあちこちにひっかけるようになります。



メスネコやなわばりを求めて外に出たオスネコは、様々な危険にさらされます。



他のオスネコとのケンカ



交通事故



交尾やケンカでうつる病気

こうしたことにより、天寿をまっとうせず死んでしまうオスネコも少なくありません。去勢手術をすることで、オシッコのにおいが軽減し、オシッコをあちこちにひっかけることもほとんどなくなるので、家の中で一緒に快適に暮らすことができます。



外に出たりほかのオスネコとケンカする衝動も少なくなり、事故やケンカでうつるネコエイズ（ネコ免疫不全症候群）などの感染症の危険も少なくなります。繁殖のストレスから解放されて、いつもおだやかにくらすことができます。